

説教：神の恵みの栄光に - 内なる人の力

おはようございます OIC、父の家へようこそ

今日は、使徒パウロによって書かれたエペソ人への手紙を読み進めます。イエスの花嫁の一部であるすべての教会が信じているように、聖霊がパウロにインスピレーションを与えたのです。先週、パウロがエペソ人、つまりすべてのクリスチャンに教えた方法を見ました。聖霊によるパウロの油注ぎの特別な結果の 1 つは、彼が過去の時代では神秘であったことを教えることができるようになったことでした。その神秘とは、キリストがユダヤ人と異邦人の間に統一を創り出すことでした。

今週は、エペソ人への手紙第 3 章をさらに読みます：

エペソ 3:13 ですから、私があなたがたのために苦難にあっていることで、落胆することのないようお願いいたします。私が受けている苦難は、あなたがたの栄光なのです。神の言葉を正しく解釈しようと努める説教者や教師は、いつも自分自身に古い言葉遊びを問いかけます。「したがって、そこに何かあるのだろうか？」

その答えは、私が信じる場所、(エペソ 3:11-12) 11 私たちの主キリスト・イエスにおいて成し遂げられた、永遠のご計画によるものです。12 私たちはこのキリストにあって、キリストに対する信仰により、確信をもって大胆に神に近づくことができます。先週のメッセージの最後に、「ここに、イエスに従う者にとって、確信をもって大胆に神に近づく方法についての最も力強い言葉が 2 つあります。神は栄光の王座に座られており、私たちはいつでもどこでも、座ったり、立ったり、ひざまずいたり、ひれ伏したりして、... 罪を取り除いてくださった子羊であるイエスと共に、**確信をもって大胆に神に近づくことができます！**それは「したがって、落胆してはならない」ということです。この素晴らしい事実は、パウロの投獄にも当てはまります。

第一に、私たち、パウロとエペソ人、そしてすべてのクリスチャンは、**確信をもって大胆に神に近づくことができる**からです！ある意味では、パウロが本当に言いたかったのは、あたかもこう言っているかのようでした。「私はあなたのために苦しんでいます、パウロ、あなたは**確信をもって大胆に神の御座に近づき**、私のために祈ることができます！」

第二に、わたしがあなたがたのために受けた苦しみは、あなたがたの栄光です。パウロは、イエスの召しを生涯受け入れ、イエスの福音と聖霊の力を、まだ福音が伝えられていない世界の人々に伝えるために、多くの苦しみを経験しました。パウロは、コリントの信徒への手紙二 4:7-12 で、自分自身と宣教チームについてこう言っています。

II コリント 4:7-12

4:7 私たちは、この宝を土の器の中に入れてあります。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。4:8 私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。4:9 迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。4:10 私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。4:11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されています。それはまた、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において現れるためです。4:12 こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働いているのです。

ですから、わたしのパウロがあなたたちのために受けた苦しみは、あなたたちの栄光なのです。彼らの栄光は、今やキリストの力強い臨在であり、もちろん、天国の神の完全な栄光です。神は、イエスの召命を果たすためにパウロが受けた苦しみに応え、パウロがイエスの名において奉仕していた人々に、天からさらなる力と栄光を送られます。

(コリントの信徒への手紙二 4:12) にある「死は私たちのうちに働き」という表現は、**神の働きによってこの死が結果を生み出し、いのちはあなたがたのうちに働いていること**を意味します。「あなたたち」とはコリントの信徒たちであり、もちろん、パウロのイエスの宣教チームによって奉仕された人たちのことです。私たちは、すべてのクリスチャンが、神の意志によって人生に一定の苦しみを予定されていることを知っています。パウロは若い弟子たちに教えました。

使徒の働き 14:22

弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧め、**「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない」と語った。**

パウロはこれらの若い信者たちに、イエスに従うことで苦しみを覚悟してほしいと考えました。しかし、彼はここで(エペソ 3:13)使徒たちと明確に区別しています。使徒たちには、今日の宣教師とフルタイムのキリスト教宣教に召されたすべてのクリスチャンが含まれます。フルタイムの宣教師は、他の人々の救いのために、独特の苦しみを経験するでしょう。しかし、宣教に召された人々だけでなく、すべてのクリスチャンは、他の人々のためにキリストの苦しみを共有するように神の僕として召されています。**パウロも宣教師も牧師も、自分の救いのために苦しむことはありません。**なぜなら、イエスがすべてを支払ったからです。しかし、奉仕に召された人々が、神が選んだ人々のために苦しむことにおいてキリストのようになる恵みを与えられることは、神の喜びです。イエスは弟子たちにこう言われました。

ヨハネ 15:20-21

20 しもべは主人にまさるものではない、とわたしがあなたがたに言ったことばを覚えておきなさい。人々がわたしを迫害したのであれば、あなたがたも迫害します。彼らがわた

しのことばを守ったのであれば、あなたがたのことばも守ります。

15:21 しかし彼らは、これらのことをすべて、わたしの名のゆえにあなたがたに対して行います。わたしを遣わされた方を知らないからです。

聖書は迫害が人々を通してのサタンによる一連の目に見える攻撃であると明らかにしていますが、聖書はまたこう語っています。

エペソ人への手紙 6:12

6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく…

悪魔は、公然とした迫害よりも、神のしもべに対してもっと巧妙な戦略をたくさん持っています。砂漠で誘惑者に勝利した後、サタンはイエスに対する巧妙な行為を控えたようです。サタンの次の計画は、十字架刑による死によって、イスラエルの王位継承者としてのイエスを排除することでした。罪深い心の中に燃えやすい火口や薪が全くなかったイエスと違い、私たちはたくさん持っています。エペソ人への手紙第6章で私が解釈するように、私たちは兵士として、より巧妙な戦いに注意し、立ち向かう準備を整えていなければなりません。

教訓#1

神への祈りにおける自由と自信は、常に喜びにつながります。少なくとも、現在の試練が終わった後の喜びに対する真の期待や確固たる希望につながります。

さて、エペソ教会のためのパウロの祈りの節を始めます。これは（エペソ 3.14-21）をカバーします。私が説明しようとしているこの神学と意味は、イエスの羊のための神への祈りであることを思い出してください。

「このため」とは、エペソ人のためのパウロの祈りの次の節にあります。同様に、パウロは確信を持って大胆に神の御座に近づき、彼らのために祈ります。彼は次のように書いています。

エペソ 3:14-15

14 こういうわけで、私は膝をかがめて、15 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。

神は私たちが謙虚な姿勢でいるときだけ私たちの話を聞いてくれるとは思わないでください。神はまず私たちの心を見ます。そして同時に、神は私たちを、神の愛する子であるキリストの中に見ておられます。しかし、私は C.S. ルイスが「私たちクリスチャンが、少なくとも時々神の前にひざまずいて、神が創造主であり、私たちは神の創造物であることを常に思い出すのはとても重要なことです」と賢明に語ったことを思い出します。

パウロが持っていた、そしてエペソ人にも持ってほしかったこの確信は、新約聖書の他の節、例えば（ローマ 8:15）で親密な方法で表現されています。

ローマ 8:15

あなたがたは、人を再び恐怖に陥れる、奴隷の霊を受けたのではなく、子とする御霊を受けたのです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と叫びます。

そして、その霊によって私たちは「アバ、父よ」と呼びます。「アバ」は、話し始めたばかりのユダヤ人の子供が父親に呼びかける言葉でした。これは英語の「パパ」や日本語の「お父さん」に似ています。私たちは、神が私たちが神に対してそのように感じ、行動することを望んでいることをしばしば忘れていきます。私たちクリスチャンが、子どものような信仰と、私たちに対する神の愛への信頼をもって神に近づくと、尊敬や畏敬の念が欠けることはありません。

私たち人間は、同時に多くのことに集中することができないために、宇宙でマルチタスクをこなす神に困惑しています。神は全能、全能、常に存在、永遠などであり、他の誰にもできないマルチタスクをこなします。また、神は私たちの祈りに耳を傾け、悲しみを感じてくださいます。私たち限られた人間であるクリスチャンの父親には、子供が邪魔をすることをいとわないだけでなく、必要なときに対応できることにも明らかな制限があります。

特に専任牧師は、牧師の家族に対する神の優先順位を見誤ることがあります。明らかに、牧師は家族のために使える時間をしばしば制限します。父親が牧師であっても、自分の「仕事」よりも自分たちを愛していることを子供たちが知るためには、邪魔を受け入れることがしばしば不可欠で重要です。この心の優先順位は、すべてのクリスチャンの父親に当てはまります。クリスチャンは、この地上で天の父に本当に似たところと似姿を見せ始めるべきです。

アメリカの有名な伝道師、ビリー・グラハムは、しばしばキリストの世界大使と呼ばれました。数年前、彼の自伝で、彼が自分の書斎のドアをノックした子供たちを「決して」追い返さなかったと読みました。彼が大手テレビ局のオーナーとのビジネス会議に出席していたとしても、世界規模の伝道活動のために次の説教を準備していたとしても、それは何の違ひもありませんでした。彼は、子供の願いの真髓を聞くために、ビジネス幹部と自分の仕事をしばらく脇に置きました。

エペソ 3:15 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。

それが「家族」という名前です。神が「家族」を発明しました。家族の尊さは、神が（創世記 1:26）で語っているように、神の聖なる性質そのものです。

創世記 1:26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」

家族は、神がわれわれのかたちに言ったという点で、神自身の延長です。したがって、男性と女性が結婚して結びつき、神が自分のかたちに、そして自分の手で地の土とアダムの

肋骨から創造したものをさらに生み出すことから、家族が生まれました。注：私たちのかたちには、神が父、子、聖霊の三位一体であることも示されていますが、イエスが神を完全に明らかにするまで、これは明らかではありませんでした。旧約聖書では、神の複数形は男性であり、結婚によって二人は一つになります。

創世記 2:24

それゆえ、男は父と母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりは一体となるのである。

この「一つ」という言葉は、元のヘブライ語ではエハドであり、男性と女性が結婚したように、複雑な一体性を意味します。

さて、私のお気に入りの聖書解説書の 1 つである Expositors Bible Commentary から (創世記 1.26-27) について引用します。…人類の創造は、特に「男と女」の創造として言及されています。以前は性別は他の生命体の創造において重要な特徴とは考えられていませんでしたが、人類にとって重要なものとなりました。したがって、神が「男と女」として「人間」を創造したという事実が強調されています。… (創世記 1.27) では、「神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。」とあります。

要点 #2

神は聖書の中で、人類の多様性は男性と女性の栄光ある創造物、つまり「人間」であることを明らかにしました。これは神の姿であり、三位一体と 1 人の神における複数形です。ですから、聖なる三位一体と聖なる結婚、そして家族における神の栄光の両方をあざ笑うこの邪悪な世界に用心してください！

したがって、「家族」という名前は、(エペソ 3.15) に見られるように、神と同じように神聖で神聖なものであり、「天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名」です。神は「家族」と非常に密接に結びついているため、パウロは謙虚にひざまずいて「家族」について考えながら自由に祈ることができます。(エペソ 3.14) から引用します。3:14 こういうわけで、私は膝をかがめて、3:15 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。

次に、パウロの手紙を読み進めましょう。

エペソ 3.16-17

16 どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。17 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが…

これらの言葉を補足する形容詞は、(エペソ 3.16 /AMPC) の真の意味や解釈を理解するのに啓発的であるように思われます。神が、その栄光の豊かさから、聖霊 (聖霊自身があな

たの最も内なる存在と人格に宿る)によって、内なる人の力によって強められ、強化されることをあなたに与えてくださいますように。パウロの祈りは、神がエペソ人に必要なもの、つまり神の存在、神の栄光から来る神の力そのものを与えてくださるようにと求めているのです。エペソ人、そしてすべての神の子供たちは、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強められる必要があります。

私たちの強さの源は何でしょうか？旧約聖書の詩篇 18 篇 1 節では、サウル王から逃げていたダビデが次のように簡潔かつ真実に語っています。「わが力なる主よ。私はあなたを慕います。」新約聖書では、イエスが弟子たちに神を現しました。イエスはかつて父と話しているときに次のように言っています。

ヨハネ 17: 6-7

6 あなたが世から選び出して与えてくださった人たちに、わたしはあなたの御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたはわたしに委ねてくださいました。そして彼らはあなたのみことばを守りました。7 あなたがわたしに下さったものはすべて、あなたから出ていることを、今彼らは知っています。

そして、イエスが三位一体の第三位格によって油を注がれたことに加え、イエスは、神は三位一体として複雑な一体性を持っていることを、行って弟子を作れという戒めの中で明確に述べました。これは、(マタイ 28:19)「ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、」に見られます。また、ここ(エペソ 3:16)で、パウロは、主にあるクリスチャンの力の源は「その栄光の豊かさ」だけでなく、三位一体の第三位格である「**聖霊(聖霊はあなたの最も内なる存在と人格に宿っています)**」でもあると宣言しています。

したがって、私たちは主イエスを通して、三位一体の神との個人的な関係について、ダビデよりも多くの知識を持っています。

要点 3

イエスは、「**聖霊(聖霊はあなたの最も内なる存在と人格に宿っています)**」についての理解を私たちの心に与えてくれました。しかし、心で知ることは、神の栄光の豊かな宝庫から、聖霊を通して力であなただを強めるという祝福を受けるために心から祈ることに繋がらなければなりません。

罪人は、自分に内なる人がいることさえ気づいていません。彼らは潜在意識の精神分析を信じているかもしれませんが、人間を作った方による聖書の記述は、人間の精神的または脳の影響をはるかに超えています。聖書は内なる人について頻繁に語っています。ダビデ王は、悔い改めの詩篇で次のように書いたようにこれを理解していました。

詩篇 51:6

確かにあなたは心のうちの真実を喜ばれます。どうか私の心の奥に知恵を教えてください。

表面的なコミュニケーションと印象の世界では、これは自然ではなく超自然です。私は、

愛する素晴らしい日本人を非難したり、欠点を見つけたりしたいわけではありません。しかし、日本の社会は、内なる思いや本心を守ろうとする意図的な建前と本心の態度を長年にわたり発展させ、実践してきました。内なる思いの一部を人々から守ることは賢明なことかもしれません。神から守るのは賢明ではありません。しかし、キリストのいないすべての社会のすべての罪人は、人間の限られた精神または脳の機能しか経験しません。

パウロが書いた（エペソ 3.16）「内なる人の力によって力をもって強められた」ことと、ダビデ王が書いた（詩篇 51.6/AMPC）「内なる存在の真実」は、どちらも内なる存在または内なる心を宣言しています。ある聖書教師がこれをあなたの心の奥底と呼ぶのを聞いたことがあります。人間のこの部分の変化は、（エペソ 3.16/AMPC）にあるように、[聖霊][聖霊自身があなたの最も内なる存在と人格に宿る] ことによつてのみ可能です。したがって、旧約聖書の時代に聖霊に油注がれた神の人、あるいはキリストが来られて以来のすべてのクリスチャンだけが、彼らの内で働く神のこの栄光を知る、あるいは許されるのです。

また、聖霊の内なる働きはイエスを人の内に招き入れ、罪人の心を聖なるものに変えますが、イエスは内在する人の心にも大きな影響を与えます。キリスト教徒の中には、聖霊の洗礼を受けるなどのより深い経験は感情にのみ影響を与えると考える人もいます。そうではありません。聖霊が多ければ多いほど、イエスが多ければ多いほどです。それでは、聖霊の洗礼をより頻繁に受けたキリスト教徒は、使徒パウロ（コリント人への手紙第一 2:16）のように「だれが主の心を知り、主に助言するというのですか。」と言うかもしれません。しかし、私たちにはキリストの心があります。

要点 4

したがって、旧約聖書の時代に聖霊に油を注がれた神の人だけが、またはすべてのキリスト教徒が、自分たちの内に働く神の栄光に関与したり、それを許されたりしています。聖書は、聖霊が多ければ多いほどイエスが多くなると明確に教えています。

（エペソ 3:16/AMPC）の「内なる人」というフレーズは、興味深く適切な解釈です。罪人がイエスの血によって清められると、彼はキリストにおける新しい創造物になります。

コリント人への手紙第二 5:17

ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

生まれ変わったクリスチャンの人格は変わりますが、必ずしも彼がすでに持っていた人格と完全に異なるわけではありません。神聖な性格が汚れた腐敗に取って代わります。しかし、人格は聖化されますが、必ずしも完全に異なるとは限らないと私は思います。使徒パウロは「パリサイ人の大義」、つまりキリスト教会を破壊するために生きた気まぐれな人でした。イエスに出会って生まれ変わった後も、彼は「イエスの大義」のために精力的に生き、福音と教会を全世界に広めた人でした。しかし、パウロの祈りには、神が人間全体

を完成し続けることが含まれています。神の似姿に生まれ変わった人間は、今や罪がありません。そしてこの人間は、イエスの似姿に絶えず似せられ続けています。

エペソ 3:17-19

17 信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、18 すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、19 人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。

パウロが新生ユダヤ人であることを理解すると、神によってカナンの東の地に植えられた農業国家の豊かな言葉は、とても自然に思えます。（ローマ 11:17-18）で見たように、17 枝の中のいくつか{ ユダヤ人 }が折られ、野生のオリーブであるあなた{ 異邦人 }がその枝の間に接ぎ木され、そのオリーブの根から豊かな養分をともに受けているのなら、18 あなたはその枝{ 父アブラハムとイスラエルの族長たちの信仰 }に対して誇ってはいけません。たとえ誇るとしても、あなたが根を支えているのではなく、根があなたを支えているのです。

（エペソ 3:17）の「愛に根ざし、愛に基礎を置いている」という言葉、そして単に「愛に」という言葉は、数年前、テレビのクルセードでビリー・グラハムをよく見ていた頃を思い出させます。彼の伝道的な説教は素晴らしく、私は彼のやり方をメモし、いつか説教ができるよう私の不可能な夢を祈りました。しかし、メモよりも、ビリー・グラハムがアメリカで行ったクルセードでテレビ（TV）ネットワークで放送された時に言ったいくつかの簡単な言葉を思い出します。放送の終わりに、彼はクルセードの聴衆ではなく、カメラをまっすぐ見ました。テレビ画面に映った郵送先住所のフォローアップについてテレビの聴衆に話した後、彼は（今では聖霊によって私と何千人もの人々に個人的に）「忘れないでください、神はあなたを愛しています！」と言いました。何年も前の私には、それはあまりにも単純に思えました。しかし、ビリーは悪魔との戦いを知っており、「神は私を愛している」と知っていることがその戦いにおいていかに強力な武器となるかを知っていました。

エペソ 3:18 の「力を持つよう」というフレーズは、主のすべての聖徒たちとともに、キリストの愛がどれほど広く、長く、高く、深いかを理解する力を得るためです」この単純な「力を持つよう」というフレーズには、多くの意味があります。エペソ 3:18/ウィリアムズ訳の同じ節は、「あなたが神のすべての民とともに、キリストの愛という考えを理解するのに十分な強さを持つため」です。パウロは明らかに知的能力の天才でした。世界最高のパリサイ派教師であるガマリエルの足元に座ることを許されたことは、熱心な献身と非常に高い知性を意味しました。彼の手紙は、特にローマ書で私たち全員が知っているように、難解で教養の高い語彙でいっぱいです。しかし、彼はキリスト教を単なる知性の宗教にすることを決して許しませんでした。それは教科書の中を除いて宗教ではありません。

それはイエス・キリストを通しての神との個人的な関係です。したがって、パウロはエペソ人の中に聖霊の力が与えられ、彼らがキリストの愛を理解できるように祈りました。キリスト教徒が地球から亡くなる時、そしてそのときのイエスとの歩みの近さに関して、重要なのは彼らが進んできた方向であって、成熟度ではありません。私は私たち全員に、**栄光の入り口**という不可能な夢を抱いて生きるよう励ましたいです。神の恵みは私にとってもあなたにとってもとても素晴らしく十分であるため、それはまったく不可能ではありません。**卒業式は私たちの永遠の命で最高の日であるべきです！**

確かに、キリストの愛を理解することは、信者がその**栄光の入り口**を期待するように励ますための重要な成熟度です。ここでパウロが述べている次の言葉（エペソ 3:17、18）は、パウロがエペソ人のために祈った言葉の一部であり、彼らの成熟度を評価した言葉ではないことを忘れないでおくことが重要です。「**愛に根ざし、愛に基礎を置く**」ことと「**すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになる**」。

この聖句はまた、私たち教会がキリストの体であることを思い起こさせてくれます。パウロは、時には一人でいられる指導者が必要であることを知っていました。アメリカでは「ローンレンジャークリスチャン」とも言われます。しかし、宣教旅行の際には伝道チームを率いていたことに注意しなければなりません。しかし、イエスの啓示は、指導者であるパウロだけに与えられることが多かったのです。ここでパウロは、ほとんどのクリスチャンが成熟し、イエスとの経験が増えることを自分と神が望んでいることを祈っています。**（エペソ 3:18/ウィリアムズ訳）** そうすれば、**神の民全員がキリストの愛という概念を理解できるほど強くなれます**。地元の会衆で神の民全員とともに成長することが、キリストの愛という概念を理解できるほど強くなるための最善の道です。

パウロはまた、地元の教会家族について書いています。

コリント人への手紙第一 12:26

一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。

私たち皆が神の力と、主の聖なる民である私たちが互いに神が許す苦しみを分かち合うことは、イエスにとって非常に重要です。

ここ数か月、私の水曜日の夜の聖書研究シリーズは「あなたの召命を知る」と題しています。私は現在、栄光への巡礼の歩みで人々が神からの声を聞けるよう、イエスと共に栄光に向かう個人的な巡礼の歩みの要点をまとめています。地元の教会で仲間のクリスチャンと個人的に聖書を読み、学ぶことは、パウロが書いたように、キリストにおいて成熟する上で不可欠な部分です（エペソ 3.18/ウィリアムズ訳） そうすれば、**あなたも神の民全員も、キリストの愛という概念を理解できるほど強くなる**でしょう。

私がこれを言うのは、何年も前に、キリストの愛がどれほど広く、長く、高く、深いかを決して理解できないように思われたことを思い出すからです（エペソ 3：17-18）。使徒ペテロが書いたように

Ⅱペテロ 3：15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。愛する、私たちの兄弟パウロも、自分に与えられた知恵にしたがって、あなたがたに書き送ったとおりです。

この聖書の一節を個人的なものとして解釈することを提案します。主の忍耐は私の救いを意味します。何年も歩き、這い、時には走り、時にはつまずきながら……巡礼の旅の中で---そうです、自分の弱点の多くを認識しながらも、パウロがこう言ったように確信を持って言います。

ピリピ 3：12

私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようにと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

要点 #5

親愛なる OIC の聖徒の皆さん、もし「キリストの愛がどれほど広く、長く、高く、深いか」を理解する力には自分にはないと感じているなら、（エペソ 3.17-18）の別の聖書の一節を思い出し、それを自分なりに解釈してください。使徒ペテロが（ペテロの手紙 1 2.15）で書いたように、主の忍耐は私の救いを意味することを心に留めてください。私たちの愛する兄弟パウロも、神から与えられた知恵をもってあなた方に書き送ったのと同じです。

パウロは、キリストの愛がどれほど「大きい」か、あるいは「大きさ」であるかだけでなく、（エペソ 3.19）で、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされることについても述べています。私たちは実際にキリストの愛の「大きさ」を測ることはできません。これらの言葉は霊的なものであり、私たちクリスチャンに対するイエスの愛がどれほど大きいかを強調するために物質的な概念をとっています。

新約聖書全体を通して見てきたように、神は人間に対する愛を明らかにするために御子を遣わされました。使徒ヨハネが書いているように

ヨハネ 1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

人を知らせるということは、新しい知識を与えることを意味します。神を知らせるということは、新しい知識を与えることと、（エペソ 3:19）にあるように人知をはるかに超えたキリストの愛を知るためのさらに多くのことが含まれます。このイエスが神の子であり、人間の体をとった神であるという深いコミュニケーションが、内なる人、つまり心の奥底

が必要です。これは今日でも真実であり、人々は聖書でイエスの真実を読み、聖霊によってイエスに出会い、イエスは今や地上の神となっています。

パウロの祈り（エペソ 3.14-21）には、使徒が神に、イエスの羊を神自身で満たしてくださいと願うことも含まれています。詳訳版の形容詞、副詞、フレーズは、（エペソ 3.19/AMPC）でこれを捉えているようです。[あなたがたが実際に、自分自身で経験を通して]キリストの愛を知るようになるためです。それは単なる知識（経験なしの）をはるかに超えるものです。[あなたがたの全存在を通して]神の豊かさのすべてに満たされますように。[神の臨在の最も豊かな量を持ち、神自身で完全に満たされ、あふれ出る体になりますように]！

これは明らかに、パウロが神に、イエスに従う人々に体験的なキリスト教を与えてくださるようにと願っているのです。パウロは、神がエペソの教会全体だけでなく、個々のクリスチャンにも個人的にそれが起こるようにと神を信頼しています。

（エペソ 3:20-21）には、こう書かれています。

エペソ 3:20-21

20 どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に、21 教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。

私たちが願ったり思ったりする以上のことを、はるかに超えて成し遂げることができる方に、というフレーズは、先週の「神の恵みの栄光のために - キリストの二つの神秘と神の御座への大胆な祈り」というタイトルのメッセージで私が引用した言葉を思い出させます。これは、チャールズ・スポルジョンによる日々の励ましのための祈りの古典である「MORNING & EVENING」からの引用です。8月22日の夕方の（エペソ 3:8）には、彼はこう書いています。「私の主は、算数や理性による測定、想像による夢、言葉による雄弁さを超えた富を持っておられます。それは測り知れないものです... 私の主は、あなたがたの罪よりも、あなたがたの罪を赦す用意があり、あなたがたのそむきよりも、あなたがたの罪を赦す力があります。」

ここでパウロは、私たちの素晴らしい神について、同じ考えや知識を繰り返し述べています。それは、（エペソ人への手紙 3:8/ KJ21）のキリストの計り知れない富、そして（エペソ人への手紙 3:20）の思うところのすべてを超えてという箇所です。

エペソ 3:20

どうか、私たちのうちに働く御力によって、私たちが願うところ、思うところのすべてをはるかに超えて行うことのできる方に...

聖書のどちらの節も、私たちクリスチャンに対する神の愛がどれだけ偉大であるか（計り知れず、計り知れない）を伝えようとしています。これはまた、1980年代のクリスチャンの歌を思い出させます。神の恵みは信者の信じる以上に偉大です。

でもブルース牧師、神は私が求めるものをあまり与えてくれないのですか？はい、私たち

は成長するにつれて、神が私たちの多くの願いに「ノー」と言われることがよくあることが分かります。それが愛に満ちた天の父の知恵です。神は私たちを、できるだけ優しく、栄光の天国への入り口まで導いてくれます。神は私たちがめったに垣間見ることのない道を見えています。少し時間を取って、神の多くの「イエス」を並べ、私たちが決して求めなかったのに神が与えてくれた心の願いのいくつかに気づけば... エペソ人への手紙のこれらの聖句はより明確になります。

信じる私たちに対する神の計り知れない愛、そしてビリー・グラハムの「忘れないください、神はあなたを愛しています！」という短いけれども力強い言葉さえも疑うようになったら、十字架上であなたのために血を流し、死んだイエスを見てください。そうすれば、私たちは心から、心の奥底から、パウロが叫んだように言うことができます

エペソ 3. 21

教会において、またキリスト・イエスにあって、栄光が、世々限りなく、とこしえまでもありますように。アーメン。

祈りましょう。

参考文献

AMPC - アンプリファイド バイブル、クラシック版 (AMPC)

著作権 © 1954、1958、1962、1964、1965、1987、The Lockman Foundation

KJ21 - 21 世紀キング ジェームズ版 (KJ21) 著作権 © 1994、Deuel Enterprises, Inc.

MORNING AND EVENING - 完全版および完全版、KJV 版、著作権 1991 Hendrickson Publishers Marketing, LLC、P.O. Box 3473、Peabody、Massachusetts 01961-3473、USA

NIVUK - 聖書、新国際版® 英語版、NIV® 著作権 © 1979、1984、2011、Biblica, Inc.、許可を得て使用。全世界ですべての権利を保有。